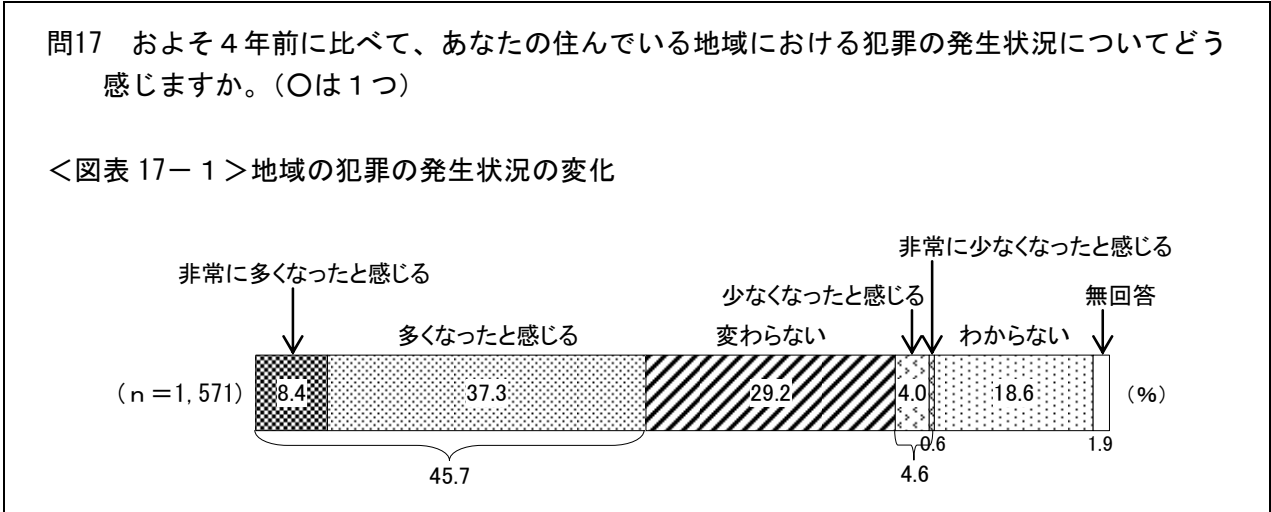


5 【県民の治安に対する意識と警察にもとめること】

(1) 地域の犯罪の発生状況の変化

◇『多くなったと感じる』が4割台半ば



地域の犯罪の発生状況の変化を聞いたところ、「非常に多くなったと感じる」(8.4%)と「多くなったと感じる」(37.3%)を合わせた『多くなったと感じる』(45.7%)が4割台半ばとなっている。一方、「少なくなったと感じる」(4.0%)と「非常に少なくなったと感じる」(0.6%)を合わせた『少なくなったと感じる』(4.6%)は1割未満で、「変わらない」(29.2%)は約3割となっている。

(図表 17-1)

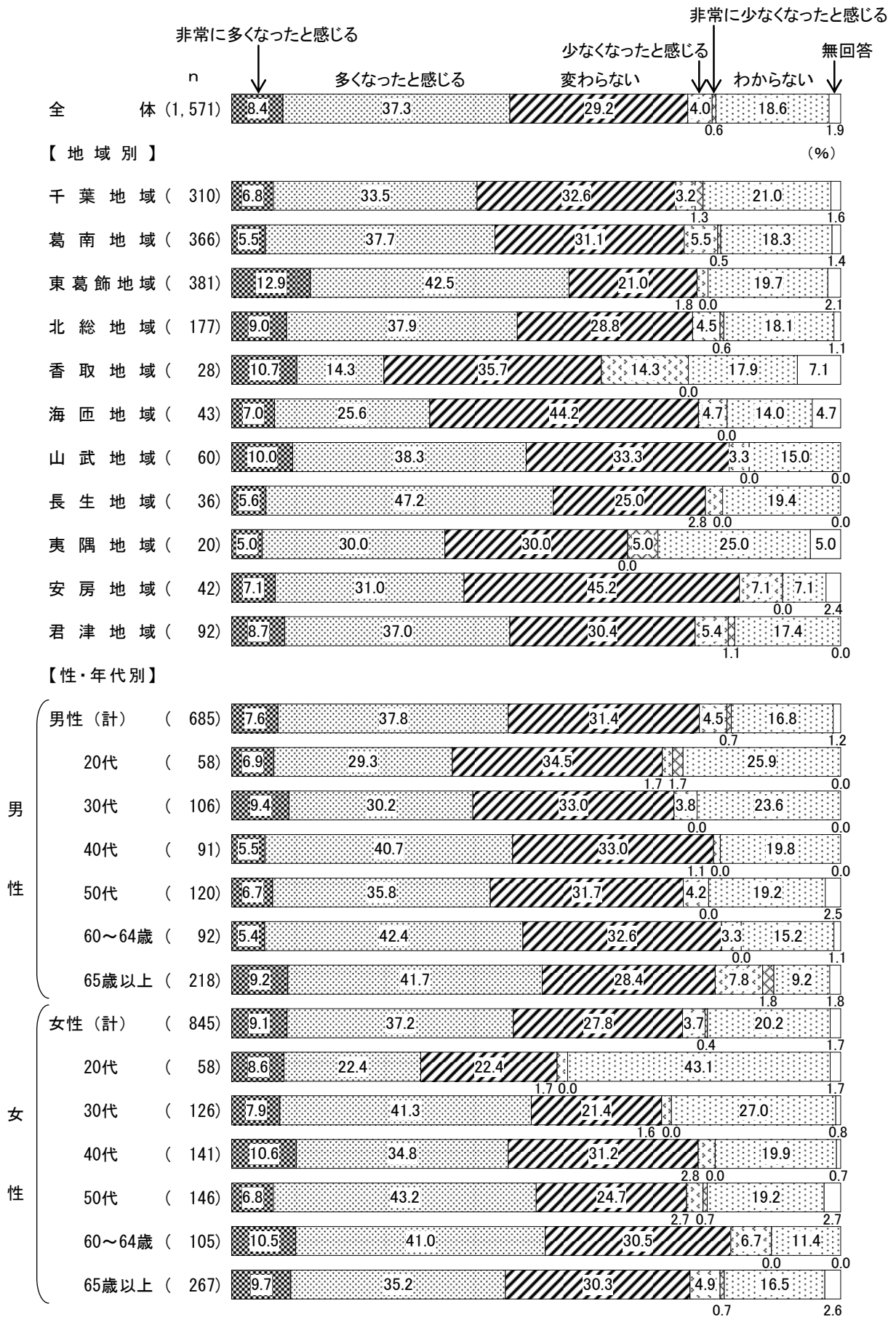
【地域別】

地域別にみると、『多くなったと感じる』は“東葛飾地域”(55.4%)が5割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表 17-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『多くなったと感じる』は男性65歳以上(50.9%)、女性50代(50.0%)、60~64歳(51.5%)で5割以上と他の年代に比べて高くなっている。(図表 17-2)

<図表 17-2> 地域の犯罪の発生状況の変化／地域別、性・年代別

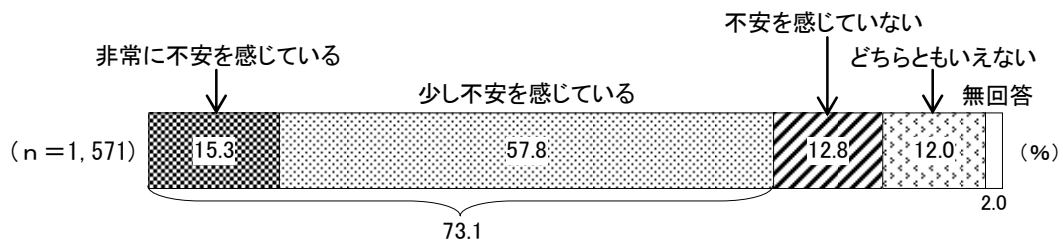


(2) 犯罪に巻き込まれることへの不安感

◇『不安を感じている』は7割台半ば

問18 あなたは、あなた自身やあなたの家族、友人、同僚などの身近な人が犯罪に巻き込まれる危険性について、どの程度不安を感じていますか。(○は1つ)

<図表 18-1> 犯罪に巻き込まれることへの不安感



犯罪に巻き込まれることへの不安感を聞いたところ、「非常に不安を感じている」(15.3%)と「少し不安を感じている」(57.8%)を合わせた『不安を感じている』(73.1%)は7割台半ばとなっている。一方、「不安を感じていない」(12.8%)は1割を超えている。(図表 18-1)

【地域別】

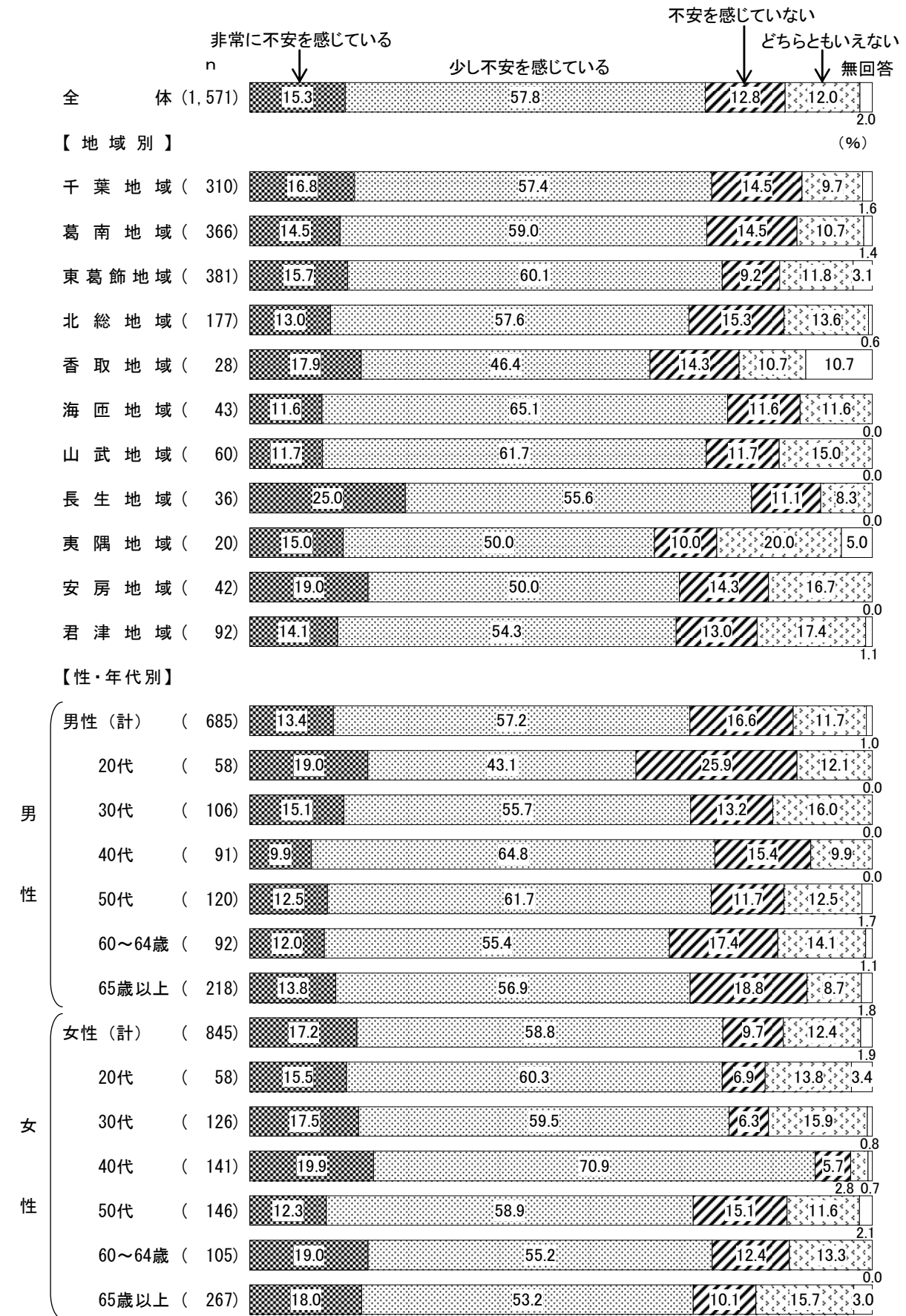
地域別にみると、『不安を感じている』は“長生地域”(80.6%)が8割で他の地域に比べて高くなっている。一方、「不安を感じていない」は“東葛飾地域”(9.2%)で1割未満と低くなっている。

(図表 18-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『不安を感じている』は男性20代(62.1%)と60~64歳(67.4%)を除くすべての年代で7割以上となっており、特に女性40代(90.8%)が9割で他の年代に比べて高くなっている。一方、「不安を感じていない」は男性20代(25.9%)が2割台半ばとなっている。(図表18-2)

<図表 18-2> 犯罪に巻き込まれることへの不安感/地域別、性・年代別

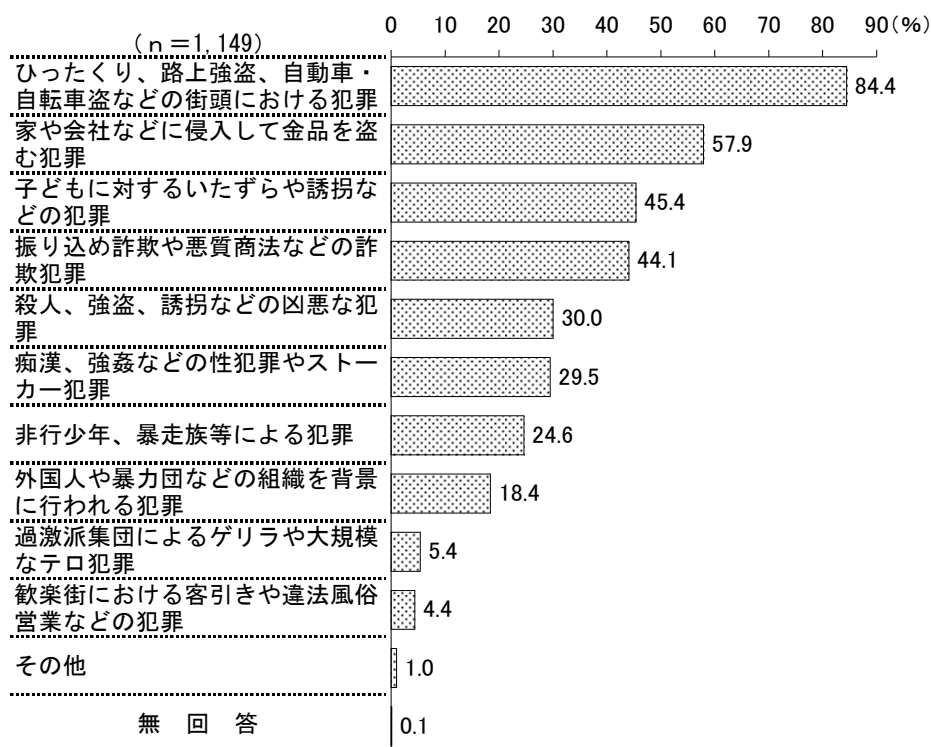


(2-1) 身近で不安を感じている犯罪

◇「ひったくり、路上強盗、自動車・自転車盗などの街頭における犯罪」が8割台半ば

(問18で「1 非常に不安を感じている」「2 少し不安を感じている」とお答えの方に)
問18-1 あなたが身近で不安を感じている犯罪は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 18-1-1> 身近で不安を感じている犯罪



問18で「非常に不安を感じている」「少し不安を感じている」と回答した人(1,149人)に身近で不安を感じている犯罪を聞いたところ、「ひったくり、路上強盗、自動車・自転車盗などの街頭における犯罪」(84.4%)が8割台半ばとなっており、以下、「家や会社などに侵入して金品を盗む犯罪」(57.9%)、「子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪」(45.4%)、「振り込め詐欺や悪質商法などの詐欺犯罪」(44.1%)などが続く。(図表18-1-1)

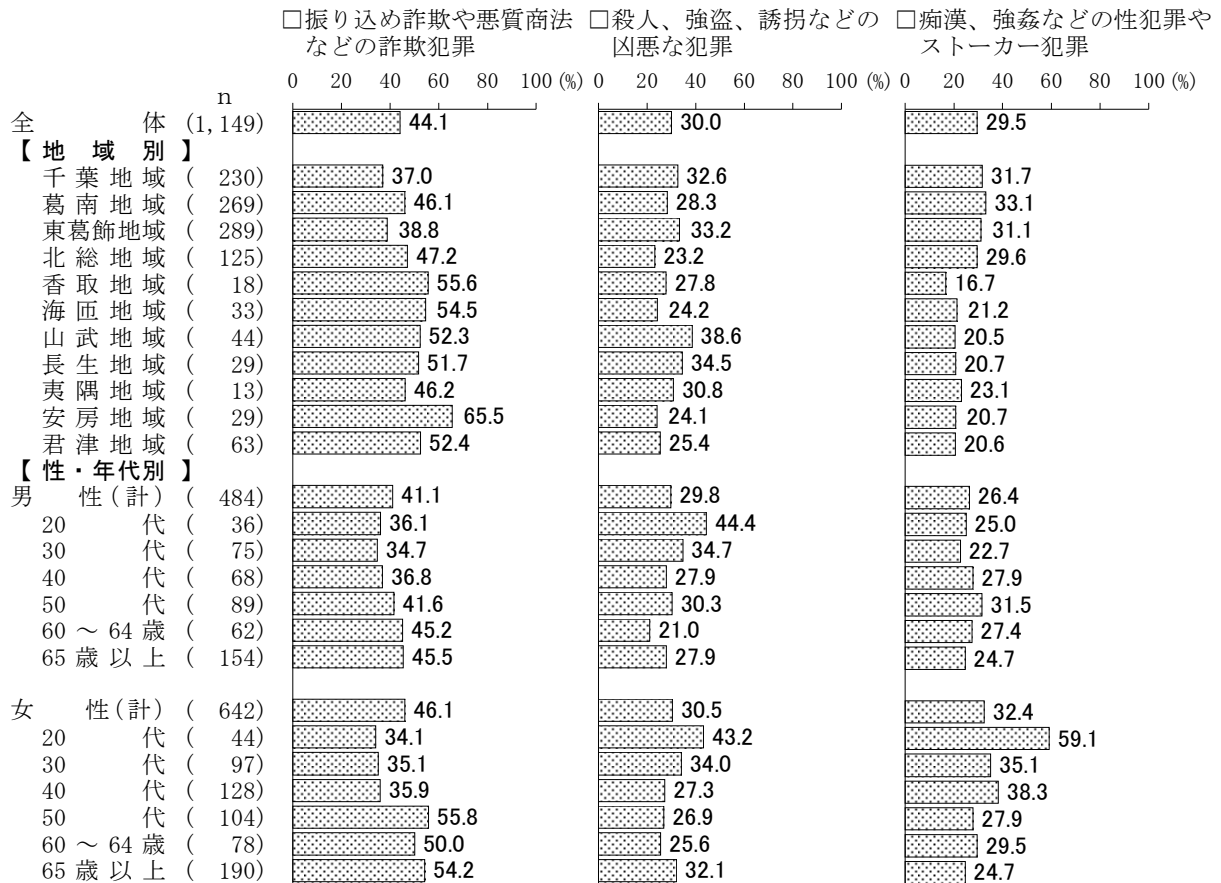
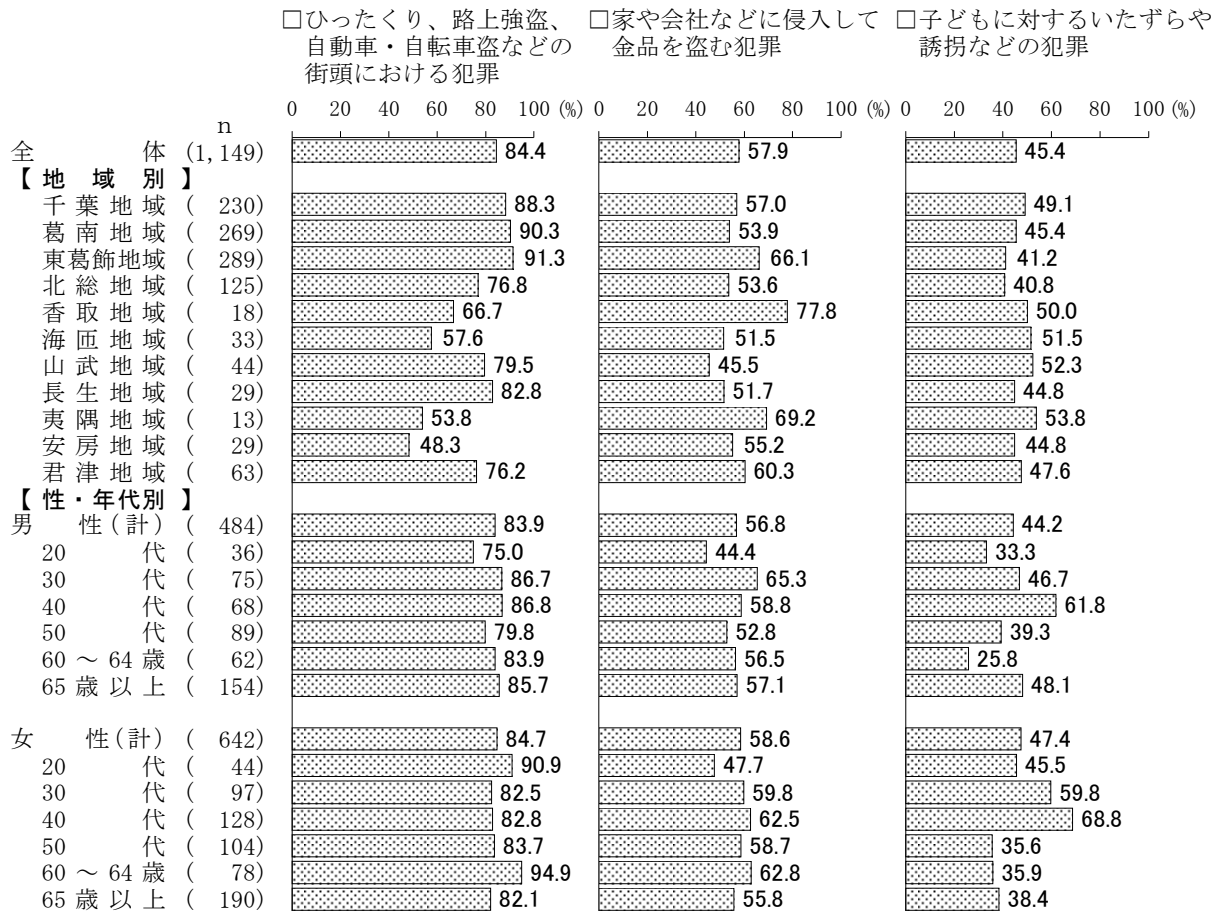
【地域別】

地域別にみると、「ひったくり、路上強盗、自動車・自転車盗などの街頭における犯罪」は“千葉地域”(88.3%)、“葛南地域”(90.3%)、“東葛飾地域”(91.3%)で9割前後と他の地域に比べて高くなっている。(図表18-1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「ひったくり、路上強盗、自動車・自転車盗などの街頭における犯罪」は男性20代(75.0%)と50代(79.8%)を除くすべての年代で8割台から9割台と高くなっており、女性60～64歳(94.9%)で9割台半ばとなっている。「子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪」は女性40代(68.8%)で約7割、「痴漢、強姦などの性犯罪やストーカー犯罪」は女性20代(59.1%)で約6割と他の年代に比べて高くなっている。(図表18-1-2)

<図表 18-1-2> 身近で不安を感じている犯罪／地域別、性・年代別

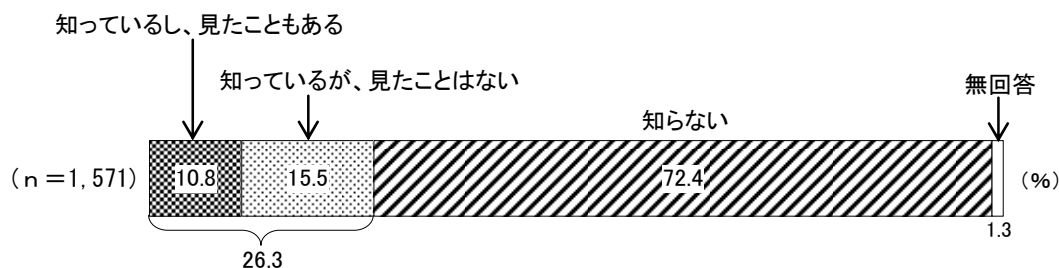


(3) 移動交番車の認知度

◇『知っている』が2割台半ば

問19 県警では平成22年4月から、安全で安心できる県民生活の確保と地域の防犯力を強化するために、新たに15台の移動交番車を配備し、運用を開始しました。
あなたは、千葉県で移動交番車が運用されていることを知っていますか。(○は1つ)

<図表 19-1> 移動交番車の認知度



移動交番車の認知度を聞いたところ、「知っているし、見たこともある」(10.8%)と「知っているが、見たことはない」(15.5%)を合わせた『知っている』(26.3%)が2割台半ばとなっている。一方、「知らない」(72.4%)は7割を超えている。(図表 19-1)

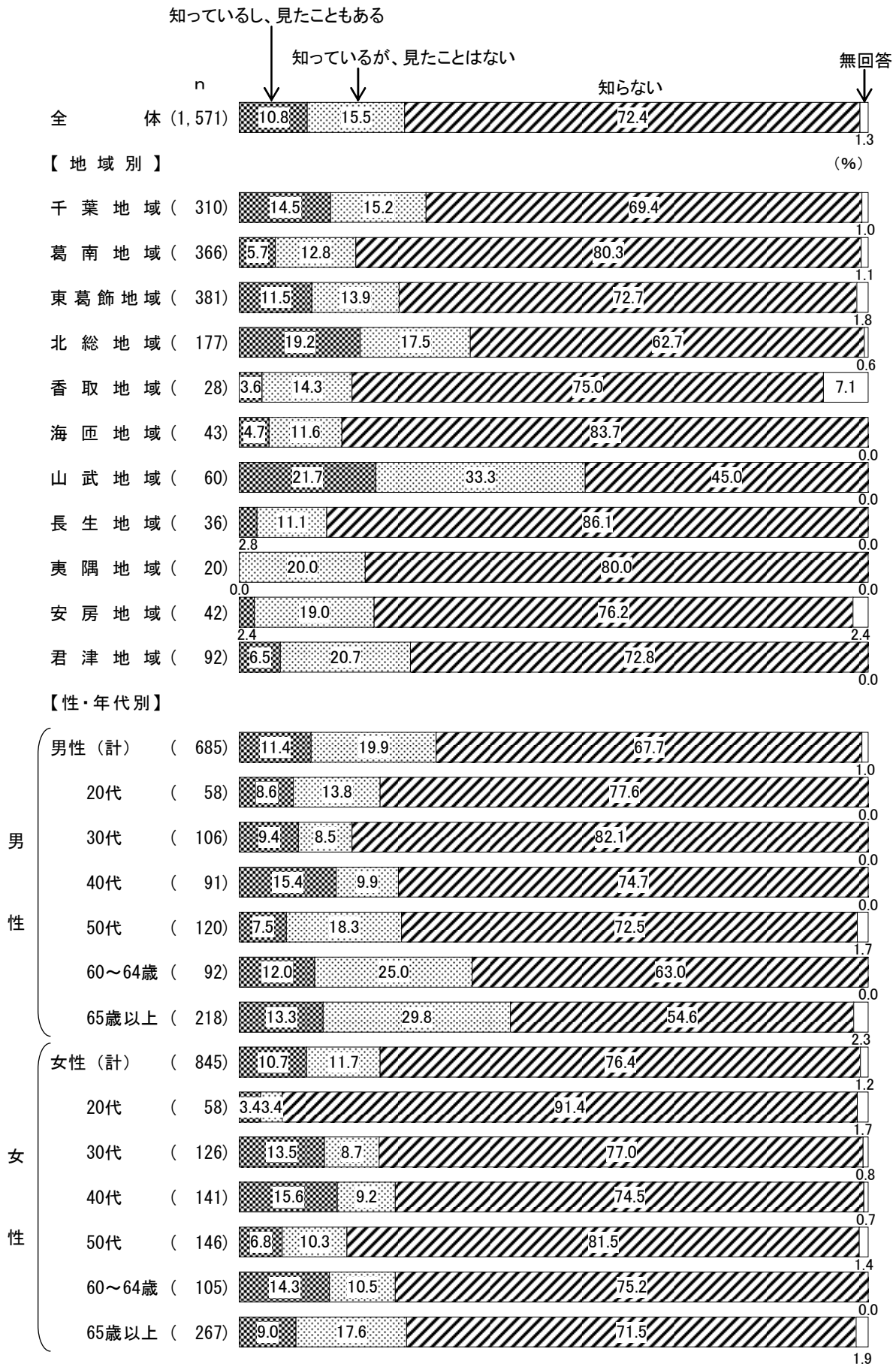
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“山武地域”(55.0%)が5割台半ばで他の地域に比べて特になくなっており、“北総地域”(36.7%)でも3割台半ばとなっている。(図表 19-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は男性では年代が上がるほど割合が高くなる傾向がみられ、65歳以上(43.1%)で4割を超えている。(図表 19-2)

<図表 19-2> 移動交番車の認知度／地域別、性・年代別

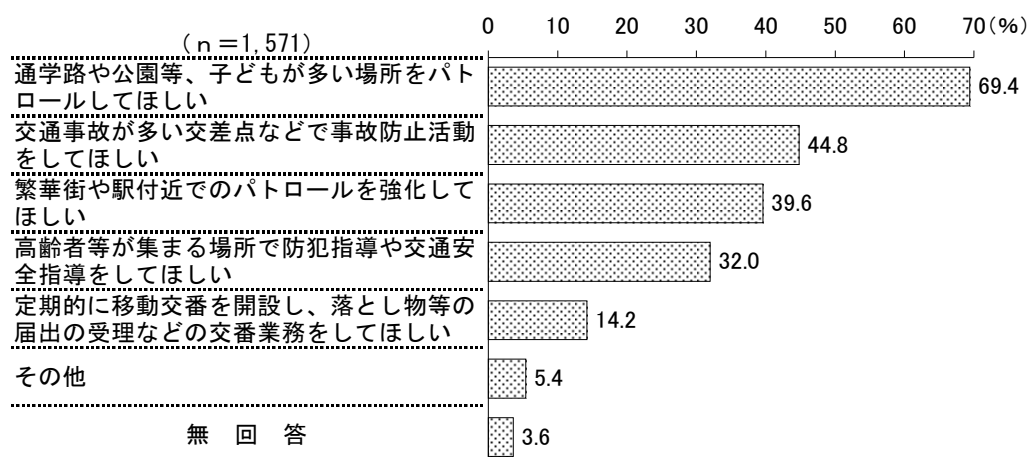


(4) 移動交番車の運用で期待すること

◇「通学路や公園等、子どもが多い場所をパトロールしてほしい」が約7割

問20 今後、全県下に配備を進めていく予定ですが、あなたが移動交番車の運用に期待することは何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 20-1> 移動交番車の運用で期待すること



移動交番車の運用で期待することを聞いたところ、「通学路や公園等、子どもが多い場所をパトロールしてほしい」(69.4%)が約7割となっており、以下、「交通事故が多い交差点などで事故防止活動をしてほしい」(44.8%)、「繁華街や駅付近でのパトロールを強化してほしい」(39.6%)などが続く。

(図表 20-1)

【地域別】

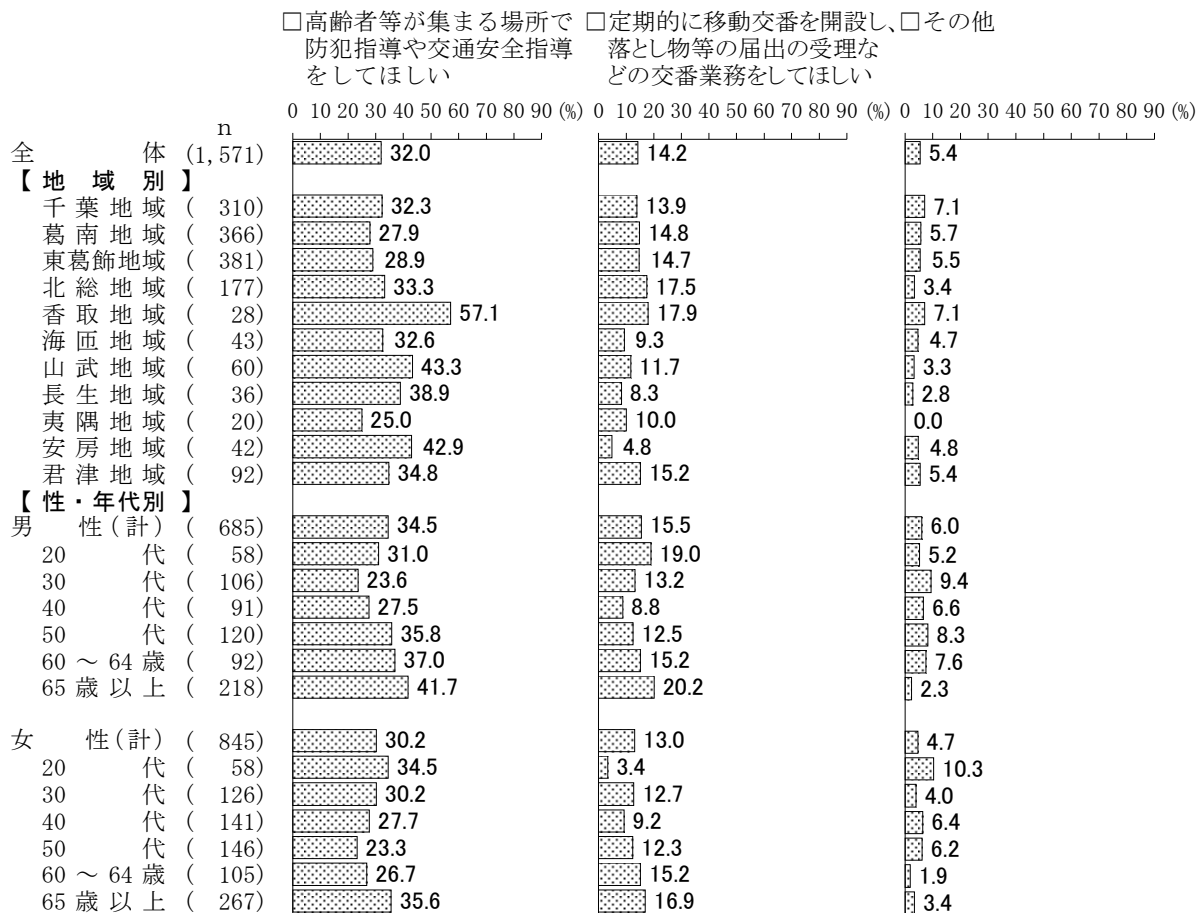
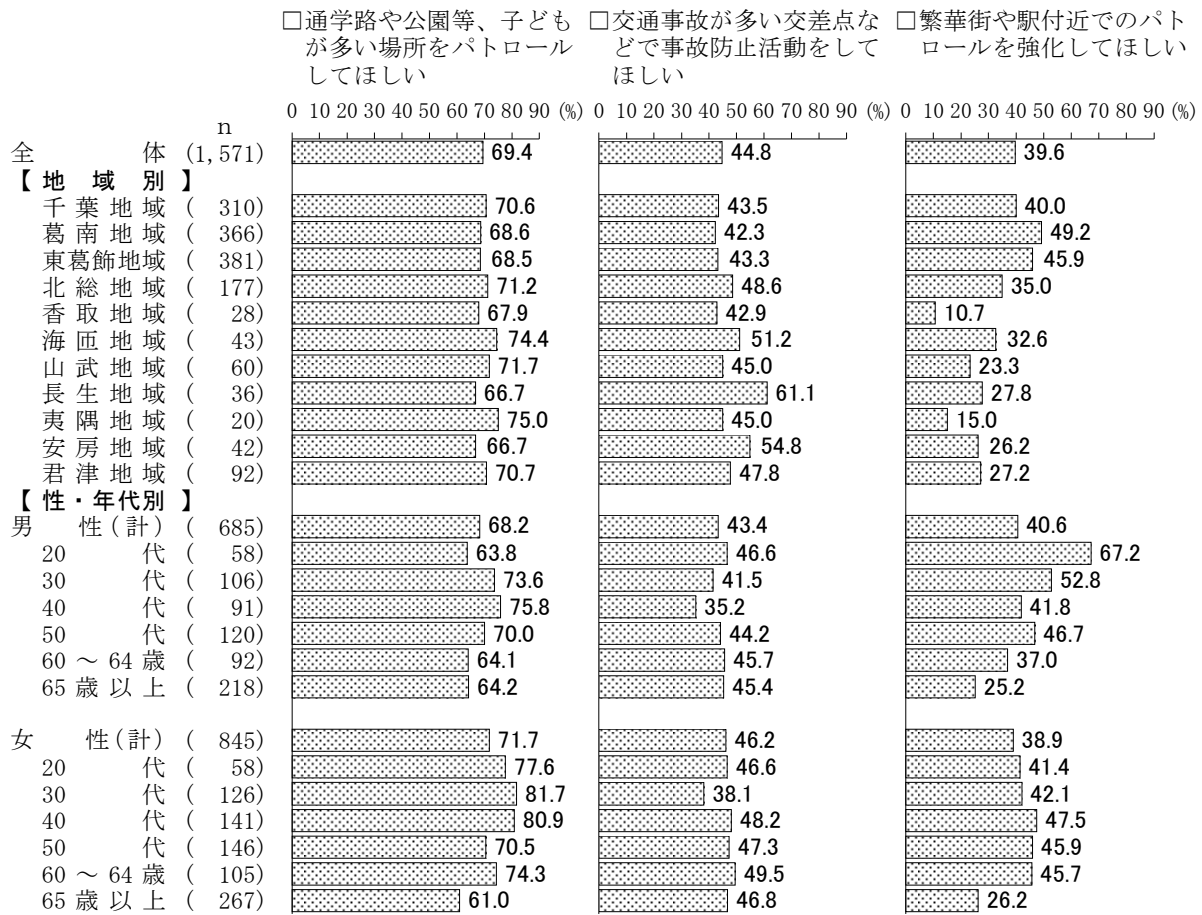
地域別にみると、「交通事故が多い交差点などで事故防止活動をしてほしい」は“長生地域”(61.1%)で6割を超えて高くなっている。「繁華街や駅付近でのパトロールを強化してほしい」は“葛南地域”(49.2%)で約5割、“東葛飾地域”(45.9%)で4割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。

(図表 20-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「通学路や公園等、子どもが多い場所をパトロールしてほしい」は女性30代(81.7%)、40代(80.9%)で8割を超え他の年代に比べて高くなっている。「繁華街や駅付近でのパトロールを強化してほしい」は男性において20代(67.2%)で約7割と高くなっている。(図表20-2)

<図表 20-2> 移動交番車の運用で期待すること／地域別、性・年代別

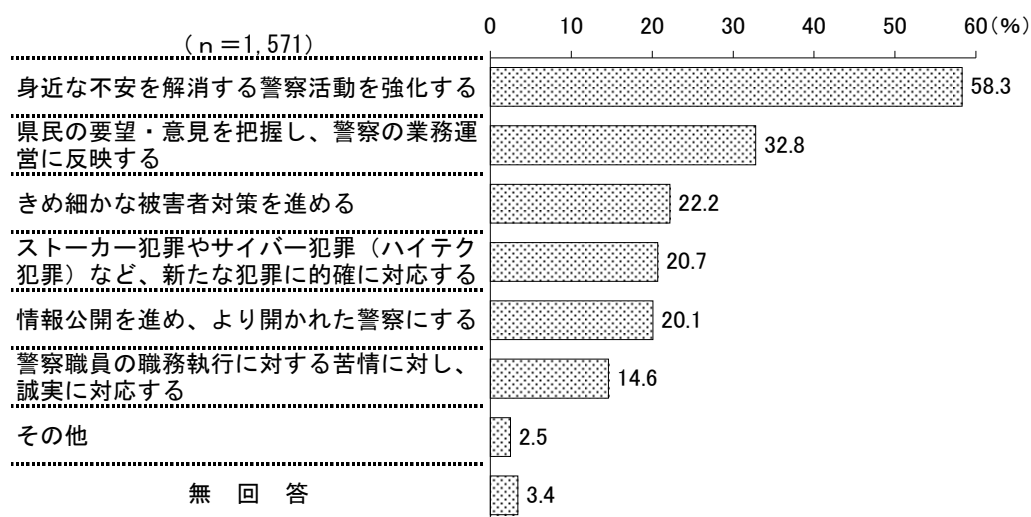


(5) 県民の視点に立った県警の活動で特に必要なこと

◇、「身近な不安を解消する警察活動を強化する」が約6割

問21 千葉県警が県民の視点に立った活動を推進するために取り組んでいる施策について、あなたが特に必要であると思うことは何ですか。（〇は2つまで）

<図表 21-1> 県民の視点に立った県警の活動で特に必要なこと



県民の視点に立った県警の活動で特に必要なことを聞いたところ、「身近な不安を解消する警察活動を強化する」(58.3%) が約6割となっており、以下、「県民の要望・意見を把握し、警察の業務運営に反映する」(32.8%)、「きめ細かな被害者対策を進める」(22.2%) などが続く。(図表 21-1)

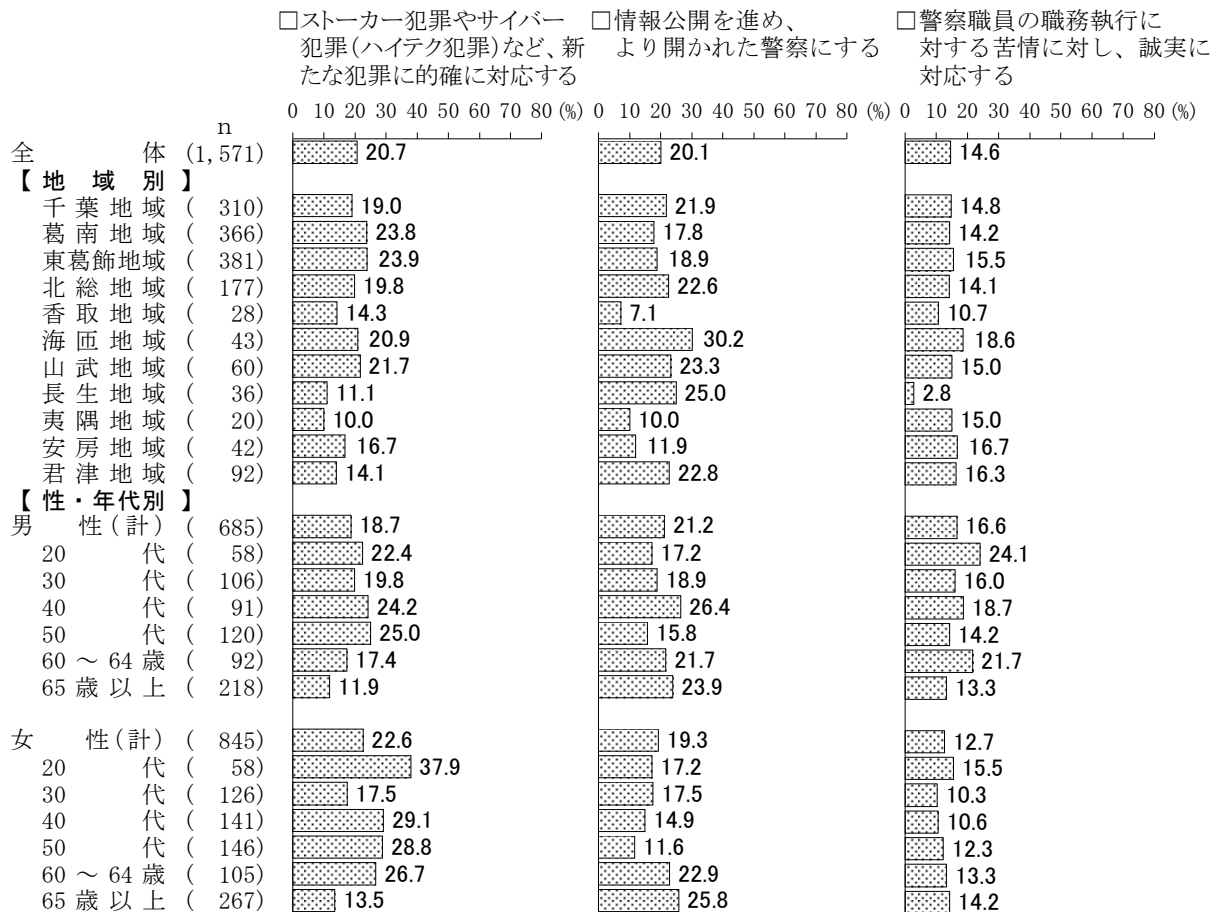
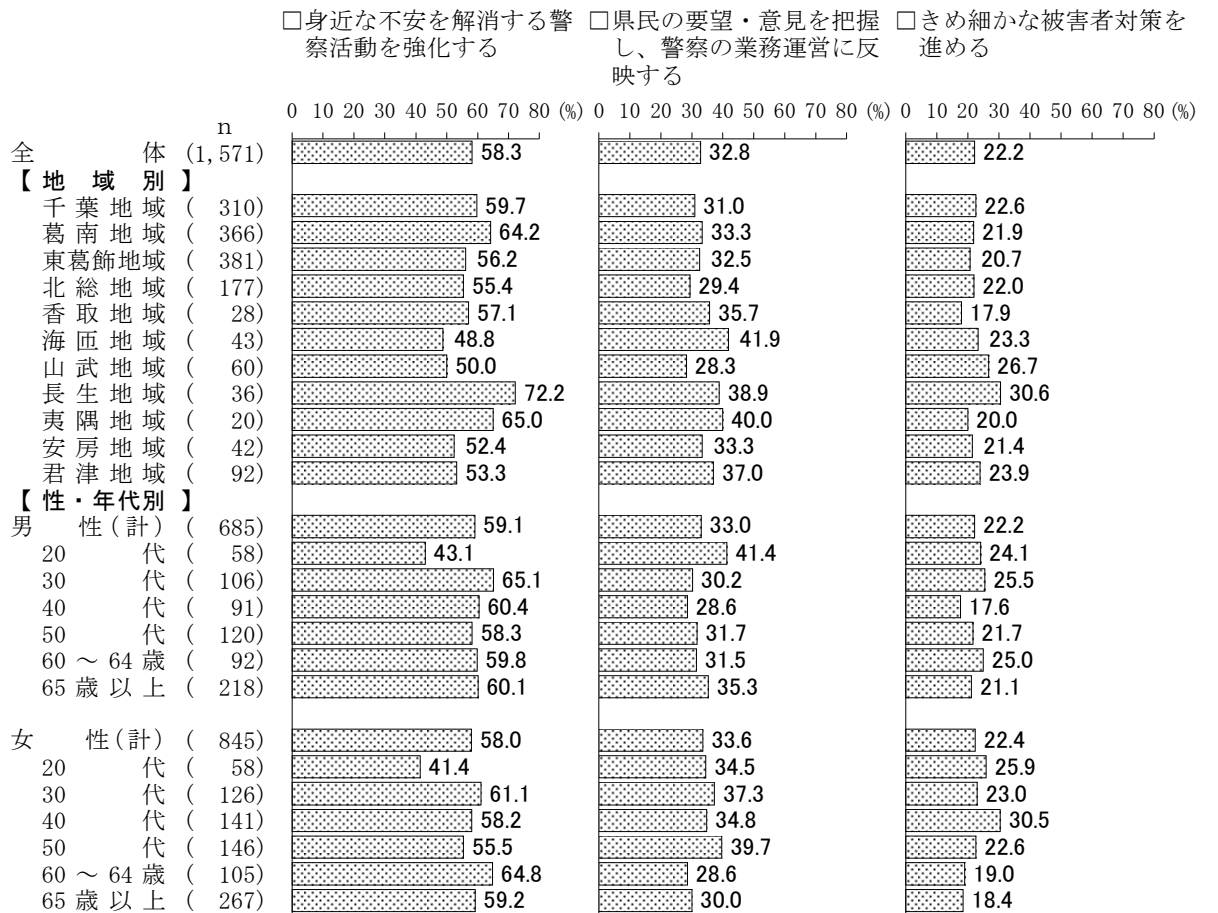
【地域別】

地域別にみると、「身近な不安を解消する警察活動を強化する」は“海匝地域”(48.8%)を除くすべての地域で5割以上と高く、“長生地域”(72.2%)で7割を超えている。(図表 21-2)

【性・年代別】

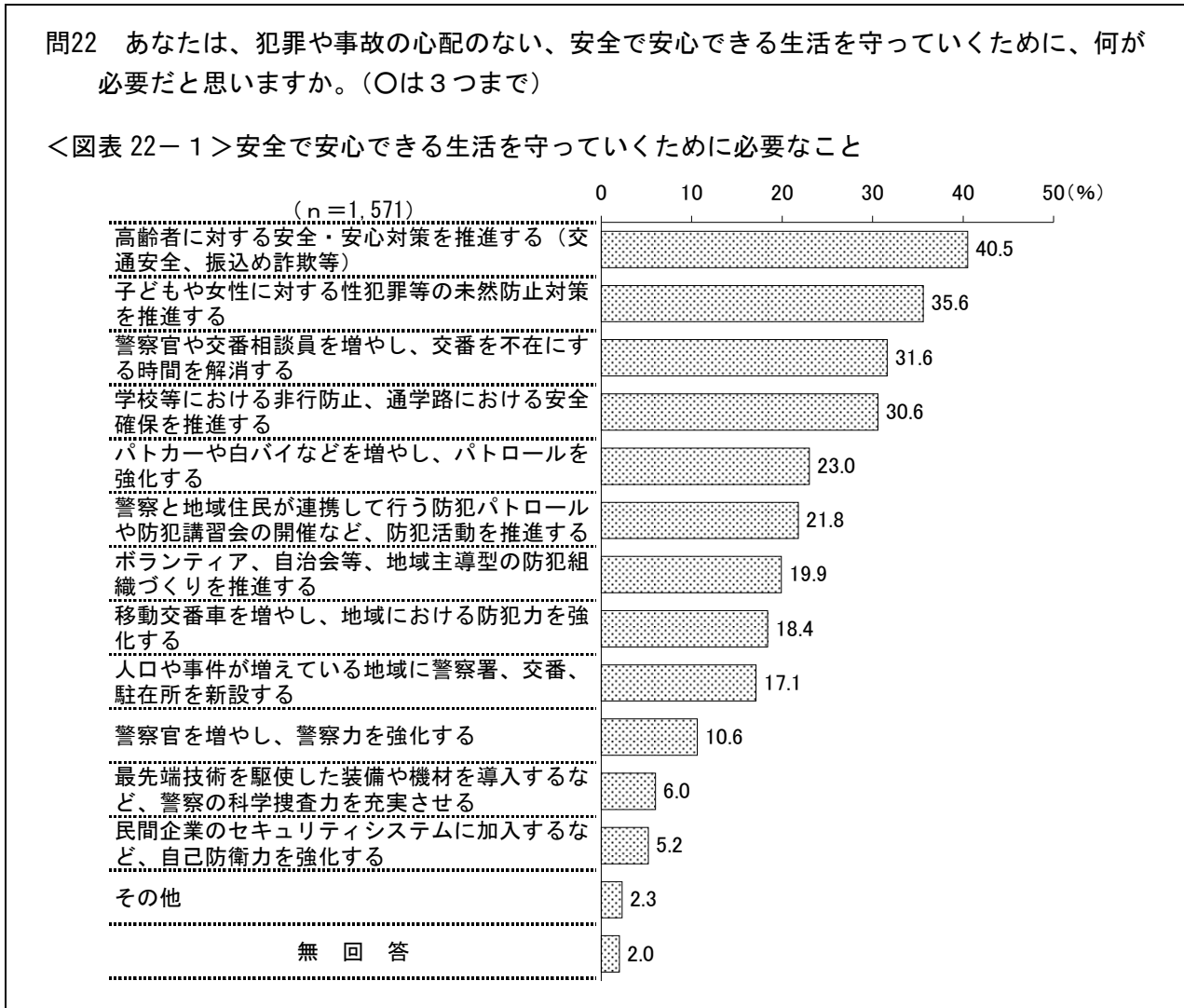
性・年代別にみると、「身近な不安を解消する警察活動を強化する」は男性20代(43.1%)と女性20代(41.4%)を除くすべての年代で6割前後と高くなっている。「県民の要望・意見を把握し、警察の業務運営に反映する」は男性20代(41.4%)が4割を超え、「ストーカー犯罪やサイバー犯罪(ハイテク犯罪)など、新たな犯罪に的確に対応する」では女性20代(37.9%)が約4割で他の年代に比べて高くなっている。(図表21-2)

<図表 21-2> 県民の視点に立った県警の活動で特に必要なこと／地域別、性・年代別



(6) 安全で安心できる生活を守っていくために必要なこと

◇「高齢者に対する安全・安心対策を推進する（交通安全、振込め詐欺等）」が4割



安全で安心できる生活を守っていくために必要なことを聞いたところ、「高齢者に対する安全・安心対策を推進する（交通安全、振込め詐欺等）」（40.5%）が4割となっており、以下、「子どもや女性に対する性犯罪等の未然防止対策を推進する」（35.6%）、「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」（31.6%）などが続く。（図表 22-1）

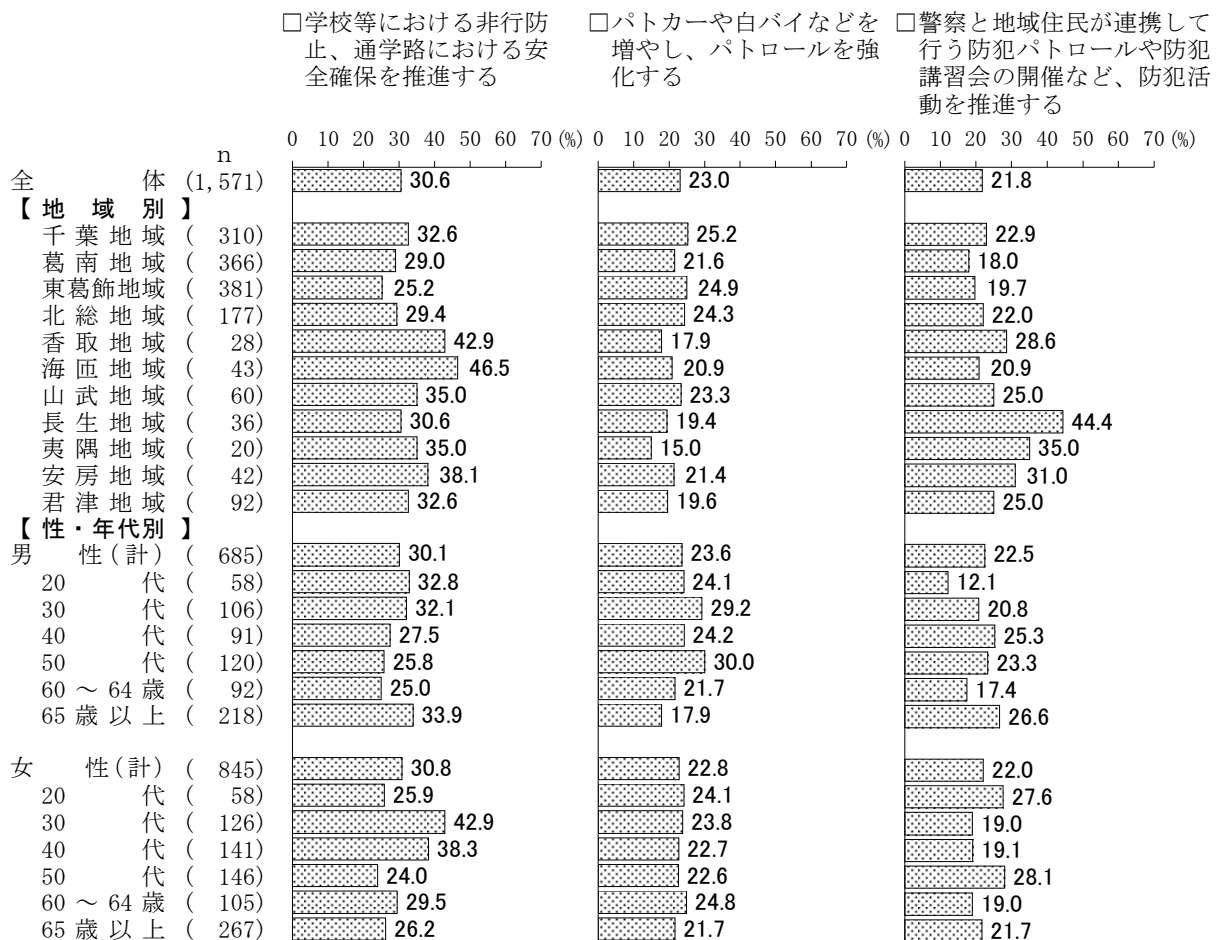
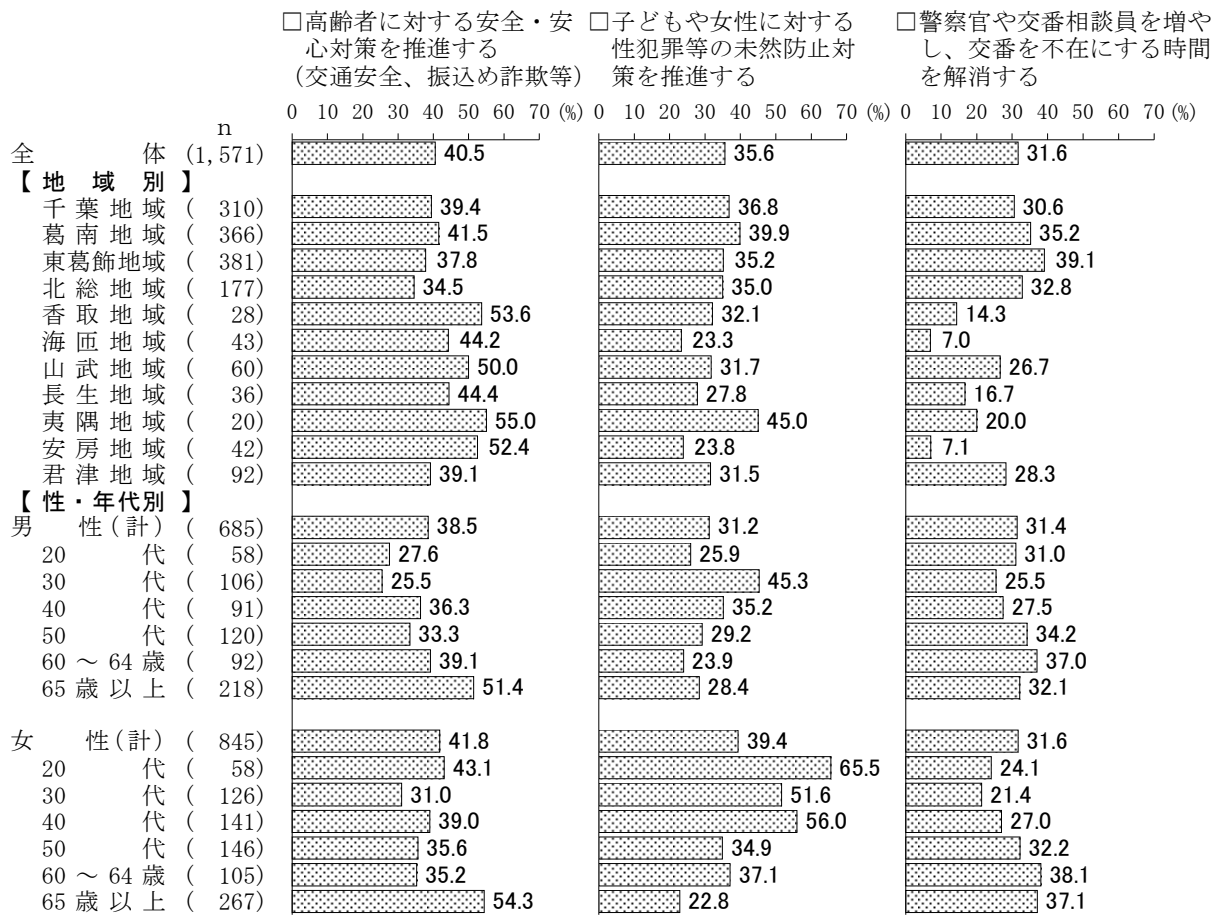
【地域別】

地域別にみると、「高齢者に対する安全・安心対策を推進する（交通安全、振込め詐欺等）」は“夷隅地域”（55.0%）が5割台半ばで最も高くなっている。「警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する」は“東葛飾地域”（39.1%）で約4割となっている。（図表 22-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「高齢者に対する安全・安心対策を推進する（交通安全、振込め詐欺等）」は男性65歳以上（51.4%）と女性65歳以上（54.3%）で5割を超え他の年代に比べて高くなっている。「子どもや女性に対する性犯罪等の未然防止対策を推進する」は女性20代（65.5%）が6割台半ば、30代（51.6%）と40代（56.0%）が5割を超え高くなっている。（図表 22-2）

<図表 22-2>安全で安心できる生活を守っていくために必要なこと／地域別、性・年代別



このほかに、「県民の治安に対する意識と警察にもとめること」についてやここまでの質問（問17～問22）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、143 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■ 「県民の治安に対する意識と警察にもとめること」の自由回答(抜粋)

- 住宅の地域連携や他人に対する興味の低下があるので、警察と住民の距離を縮めること、親しみやすさを感じさせる人柄であること。犯罪がベーシックで動くのではなく、何もない平和維持を目標に動いてほしい。（女性・20代・千葉地域）
- 警察に全ての犯罪に対する事を求める前に県民の1人1人が自己意識を高めて、警察は地域パトロールをもっと強化すべきだと思う。特に夜間は犯罪が多発すると思うので強化してほしいです。（男性・20代・千葉地域）
- ・パトカーが巡回しているだけでも効果的だと思います。・旅行に行った先の町で町内アナウンスを使って「小学生が下校します。見守りをお願いします」と言っていました。地域で小学生を守るいいアイデアだと感心しました。（女性・60～64歳・東葛飾地域）
- 警察のOBの方の知識をもっと活かして頂き一般市民とうまく防犯に役立たせる工夫をする。（男性・60～64歳・東葛飾地域）
- 移動交番の設置回数日数等が少ないように思います。（女性・60～64歳・山武地域）
- 警察官もいろいろな方がおりますが、多くは人に接する言動が威圧的です。犯罪者と一般市民を混同して話をします。しっかり社会人教育が必要と考えます。（男性・50代・千葉地域）
- 近くに派出所はないが、バイクで巡回している。（男性・65歳以上・葛南地域）
- 警察の交通取締りは危険な場所で行うのは、意味があると思うが、そうでなく点数かせぎのような場合が多い。それより、もっと住民の身近なパトロールをして頂きたい。（女性・50代・東葛飾地域）
- 交番が少ないのが不安です。（女性・65歳以上・北総地域）
- 警察が、何をしてくださっているのかが良く判らないです。犯罪が起きないと警察は動けませんと言っている様では、その様な組織は、不要であると言わざるをえません。住民の声を聞いて下さい。今のままでは、犯罪は、増える一方でしょう。（女性・50代・千葉地域）